

## (1) 任期満了選挙の適正かつ円滑な管理執行

重点施策・事業 における目標	公職選挙法の改正により、選挙権年齢が 18 歳以上に引き下げられ、また、選挙人名簿の登録制度も変更されたことから、平成 27 年度末に選挙人名簿の管理システムの改修を行いました。 7 月執行予定の参議院議員通常選挙は、こうした状況で執行する初めての選挙であり、引き続き、公正、適正かつ効率的な選挙事務を進めていきます。
平成 28 年度の 取り組み	任期満了（平成 28 年 7 月 25 日）に伴う参議院議員通常選挙について、公正、適正かつ効率的な選挙事務の管理執行に努めます。 平成 28 年度当初予算：89,220 千円

9 月末の  
進捗状況  
【◎】

7 月 10 日の参議院議員通常選挙の執行にあたっては、選挙期日に向け周到な準備を行い、適正かつ効率的な選挙事務を行った。

## (2) 選挙啓発事業の推進

重点施策・事業 における目標	選挙権年齢の引き下げに伴い、学校での出前講座等の実施、また、選挙時には若者の利用が多いコンビニエンスストアや大学での選挙啓発を充実させ、若年層の投票率向上に向けた取り組みを進めます。
平成 28 年度の 取り組み	選挙権年齢が引き下げられたことで、これから有権者となる中学・高校生を対象に出前講座等を実施し、政治や選挙への参加の重要性を PR します。 また、18 歳選挙権の適用後初めてとなる選挙時の啓発として、若者の利用が多いコンビニエンスストアや大学に協力をお願いし、投票参加を呼びかけるミニのぼりや割り箸袋等を設置し、少しでも若者たちの目に触れてもらう機会を増やすことで若年層の投票率向上をめざします。 平成 28 年度当初予算：848 千円

9 月末の  
進捗状況  
【○】

7 月 10 日の参議院議員通常選挙での啓発として、若年層の投票率向上を目的にコンビニエンスストアや大学の協力のもと、投票を呼びかけるミニのぼりや割り箸袋の設置を行った。また、選挙を前に高校での出前授業を行った。

### (3) 投票しやすい環境づくり

重点施策・事業 における目標	公職選挙法が大幅に改正される中、有権者がより一層投票しやすい環境を整備することにより、投票率の向上を図ります。
平成 28 年度の 取り組み	障害者や高齢者が投票しやすいように、投票所にスロープを設置するなど、引き続きバリアフリー化に努めます。また、若年層への選挙啓発の一環として、関西外国語大学内に期日前投票所を新たに設置するなど、投票の利便性や事務執行の効率性を検討しながら、投票しやすい環境整備に努めます。

9 月末の 進捗状況 【○】	7 月 10 日執行の参議院議員通常選挙では、若年層のより一層の政治参画を目的として、関西外国語大学内に新たに期日前投票所を開設し、投票環境の向上を図った。
----------------------	--